

市議会だより

3月定例会 施政方針に対する質問

- 2人の議員が各会派を代表し、施政方針に対して質問しました。
- 10人の議員が市政について質問しました。

一般質問

● 10人の議員が市政について質問しました。主な内容については次のとおりです。

市民クラブ代表

岡田 隆司 議員

市長の政治理念について

問 「基礎的自治体の重要性と財政力や行政力、地域の魅力を高める幡豆3町との合併が不可欠」について、現状認識と将来展望は何ですか。

答 合併により行政経費の削減を図り専門部局の設置や基礎体力を鍛え、財政力と行政力をさらに高めます。

問 「未来に夢と希望、歴史と文化の薫る品格のあるまちづくり」の具体的な構想は何ですか。

答 安心力社会の実現、活力の再構築グリーン倍増計画、行政改革の4つの基本政策を掲げています。

安心力社会の実現と医療の充実について

問 ゆとり教育の見直しと、新学習指導要領への対応はどうしていきますか。

答 小学校では平成23年度、中学校では平成24年度から全面实施します。小学校では、1年生が年間68時間、2年生が70時間、3年生から6年生までは35時間増加します。

問 本市は学校2期制、幡豆3町は3学期制、また部活動はどう調整しますか。

答 学校2期制の効果は、より確かな評価が可能となり、教員の時間のゆとりもとれました。3学期制については統一する方向で調整していきます。部活動については、学校、保護者、関係団体からも意見を聞きながら調整したいと思います。

問 46万円を補助する出産支援金制度の創設の理念と効果はどうですか。

答 誰もが安心して出産できることが何より重要であり、子育ての経済的負担の緩和に一定の効果があります。

問 市民病院改革プランの進捗状況と今後の計画はどのようですか。また、多額な累積赤字（約41億円）への対応と黒字化は可能ですか。

答 これまで高額医療機器及び、施設の整備とコスト削減を重点項目として取り組んできました。目標年次の平成25年には黒字化をめざしています。

幡豆3町合併と財源確保について

問 経常経費の削減のみでは限界がありますが、新たな財源確保はどうしますか。

答 企業誘致や未利用地の売却、受益者負担の原則による市の施設の有料化等積極的に推進していきます。

問 合併により財政力の低下は免れませんが、その対応はどうしますか。

答 財政力指数が1を超えている西尾市と、1を下回る3町が合併すれば財政力は低下します。合併特例法の改正による交付税の算定替え措置や、人件費などの経常経費の削減により対応していきます。

問 幡豆3町への交付税が算定替え交付となっても、合併後6年目から大幅に減額となりますが、その対応はどうしますか。

答 それまでに人件費だけでなく、物件費全ての分野で相当の見直しをする必要があると考えています。

問 本市は全国で唯一消防団のない市でありますが、合併を期に3町の消防団を解消していきますか。

答 幡豆3町には地域に密着した伝統と歴史ある消防団がありますが、合併を期に解消することは考えていません。

問 法定協議会で合併の確認がされても、最終的には関係議会の議決が必要ですが、その前提として賛否を問う住民投票が必要だと思いますか。

答 合併が必要であると首長及び議会の意見が一致すれば、改めて住民投票を実施する必要はないとの認識をしています。



清明会代表

工藤 光雄 議員

市長の政治姿勢について

問 「市民第一」、「変える勇氣」、「総智・総力の結集」といった3つのキーワードに対して、平成22年度の施政方針を実現するための市長の政治姿勢はどのようなですか。

答 政治の基本は「幸福感の実現」であり、「市民のため」を基本姿勢に市政運営を行ってきました。また、変化の確に対応するため、今までの仕組みを見直し、変えていく勇氣を持たなければならぬと考えており、そのためには議員各位、市民、市職員の協力が不可欠であり、みんなで知恵を出し合い、幸せを実感できる西尾市づくりを進めていきます。

安心力社会の実現と活力の再構築について

問 教職員の資質向上を目的とした人材育成システムの構築について、どのように考えていますか。

答 授業力の向上や特別支援への対応など多岐にわたる内容の研修を実施しており、今後も学校を離れた研修を減らし、各学校における研修の充実を

援していきます。

問 今後どのような課題をもって地域医療の拡充に努めますか。

答 ①医療機器、施設の整備により地域に必要な医療機能を確認します。②急性期の入院中心の医療を行います。③2次救急病院としての役割を果たします。④災害拠点病院の機能を整備します。

問 精神障害者の居場所づくりや相談業務を行う、地域活動支援センターの事業内容はどのようなですか。

答 精神障害者のために平成22年10月に「地域支援センターめだか工房」を開設します。対象は精神障害者と身体的障害の方も利用可能で、20人程度の利用を想定し、日中の居場所であるフリースペースの提供や日常生活全般の相談や情報提供を行います。

問 市内の高齢者交流広場の計画はどのように考えていますか。

答 整備計画は、中学校区に1か所が適当と考えており、残りは東部中学校区のみとなっています。

グリーン倍増計画と行財政改革について

問 低公害車購入補助制度を新設しませんか。

答 近隣市も補助制度を設けており、

当市も補助制度の在り方を検討します。

問 市民参加による事業仕分けを市長任期中に実施しませんか。

答 市民に行政の関心を持っていただくということで前向きに検討します。

問 ミスリードしたような情報の中で住民投票を行うことは間違った方向へ誘導しかねません。法定協議会の中で協議し、そこで決定したことに対応すべきだと考えますがいかがですか。

答 あらゆる機会を通じて、住民に合併の必要性をお知らせしていきます。住民投票は、大きな争点があるなら必要と思いますが、3町が一緒に力を合わせてやろうとしている今、住民投票は必要ないと考えています。

一般質問

牧野 勝子 議員

西尾市・幡豆郡3町の合併について

問 住民意向調査は、合併に賛成、どちらかと言えば賛成、どちらかと言えば反対と、賛否の項目を同数にする案もありましたが、あえて賛成2項目、

反対1項目を選んだという答弁がありました。全国の市町で賛成と反対の設問が同数であるのに、なぜ不公正な調査方法を選択したのですか。

答 豊田加茂の合併に同様の設問があります。

問 賛成と反対を同数にした場合と、それに差をつけた場合、どちらが正確なアンケートになりますか。

答 西尾幡豆地域の状況から、先進合併事例も参考に設問数を設けました。

問 都市計画税は、西尾市が都市計画税課税標準の0・28%、3町は0・2%です。3町が西尾市に合わせたらいかほどの増税になりますか。

答 約1億2千万円の増収見込みです。

問 都市計画税は合併特例を生かせば5年間は今の税率のままで、その後あげていく方法を取ることもできますか。

答 そのようです。

問 この合併が住民にとって負荷のかかる合併であるということですが、

小中学校や保育園の給食は、西尾市は自校方式、3町はセンター方式となっています。昨年、ある穀飯業者が力ビの生えたお米などを販売、学校給食の材料の中にも持ち込まれました。愛知県の教育委員会もこの被害状況を発表しましたが、西尾市は被害が極めて少ない結果でした。しっかりした栄養

士や、献立や、作り方や、目に見える現場（調理室）が近くにあったということで、非常に良かったと思います。そこで、3町の小中学校や保育園の給食を自校、自園方式に引き上げさせんか。

問 合併したら現場をよく見て判断していきますか。

問 地域主権とは、首長だけに強権が与えられることではなく、住民の主権が大切にされることです。住民投票をしないと市長が明言するのは、住民の主権を市長が抑えることではありませんか。

答 合併が必要と首長と議会が認識すれば住民投票の必要はないと考えます。

問 合併に対する住民投票について、市長と議会が必要との意見が一致すれば、市長としても協力できますか。

答 合併に関して大きな相違点があれば、住民投票も必要かも知れませんが、私どもが進めている合併は、幡豆郡3町の首長と私との間に相違点は全くありません。ですから私は、住民投票の必要はないと考えています。



稲垣 正明 議員

不景気を契機に歳入増加の強化の取組みについて

問 市民税、固定資産税などの税金の未納金はどのように推移していますか。

答 未納金は滞納繰越分を含め、平成18年度11億6千万円、平成19年度13億円、平成20年度13億7千万円となっています。

問 税金の未収金に対してどのように取り組んでいますか。

答 課長、臨時職員、推進員の19名の体制で、職員と推進員が連携をとり、分割納税、差押えを前提とした納税折衝を行い、滞納整理を行っています。平成21年度の差押件数、徴収金額は前年度より増加しています。

問 新財源として税金の前納報奨金の廃止・見直しや公共施設を使用する場の受益者負担を検討しませんか。

答 報奨金は交付の率や限度額の引き下げを検討していきます。公共施設の使用料は、受益者負担の原則にのっとり有料化を検討しているところです。

問 広報紙や市のホームページなどの広告収入はどれくらいありますか。また、広告収入の対象拡大として六万石くるりんバスなどを検討しませんか。

答 平成21年度の広告収入は10か月間で約332万円です。六万石くるりんバスの広告掲載は、平成22年度実施に

向け取り組んでいます。

図書館の運営及び土曜開庁などの市民サービスの拡充について

問 図書館の貸出カードの登録者数や図書の出状況はどうなっていますか。

答 平成20年度の登録者数は3万2千人で30%の登録率で、貸出冊数は49万冊で市民1人当たり4.5冊といずれも西三河で下位に位置します。

問 民間でできることは民間でという観点から、開館時間延長の一つの手段として、窓口業務を民間委託しませんか。

答 直営、民間業務委託や指定管理者制度の図書館視察研修を実施し、民間委託を含め方向性を探っていきます。

問 昨年4月より実施している土曜開庁の状況はいかがですか。

答 平成22年1月末の利用者は731名、証明書の発行件数は1千251件で、1日平均の利用者は17人です。

地球温暖化防止の取り組みについて

問 市長マニフェストの校庭の芝生化はどのように実施しますか。

答 初年度は、モデル事業として部分芝生化を、小学校2校で実施していきます。モデル校は3月中に決定します。

大竹 忍 議員

災害対策の充実について

問 災害時に食物アレルギーの人や普通食が食べられない人等に対して、非常食の支援を充実しませんか。

答 災害時すべての方への食の対応は、現時点では困難をきわめず。自己防衛を考えていただくとともに、市としてアルファ化米、インスタントおかゆなど必要最低限の対応をしています。

問 震災から復興に関して、地域特有の課題と共にさらに複雑化、深刻化させているものに、市町村合併の弊害が調査の結果で明らかになっています。合併協議会で被災後の支援や申請手続きなどについて、市役所と支所との連携をどう図るか協議しておく必要があると思いますが、協議しませんか。

答 重要な調整事項であると認識して、事務組織及び、機構の取り扱いを協定項目で協議していきます。

問 住民と行政のずれが、特に合併をした市町村で複雑化、深刻化している事実が報告されています。現在、被災地の実情からして、住民の生活実態とかけ離れていることが浮き彫りになっています。地域自主防災会と一緒に災害対策の策定、見直しをしませんか。

◎ 市民をはじめ関係機関との相互調整及び、合意形成に十分な時間と協議を尽くすことが重要と考えています。

問 市営蔵屋敷住宅跡地など、市営住宅跡地を防災広場として公園整備をしていきますか。

◎ 市営蔵屋敷住宅跡地は、被災時の応急仮設住宅の候補地となっております。公園化事業については、担当課と協議してまいります。

市民サービスの向上について

問 市役所西玄関内に公衆電話を設置しませんか。

◎ 西玄関内の行政情報コーナー内に設置を考えていきます。

問 市役所に屋根付き駐車場及び北側駐車場内の駐輪場を屋根付きに整備しませんか。

◎ 屋根付き駐車場は大規模改修時に検討します。駐輪場は整備する方向で考えていきます。

問 市役所に市立図書館の分館を開設しませんか。また、駅ビル内や駅前図書館の分館を開設し、市民への利便性を図りませんか。

◎ 本庁舎は分館を想定した建設がしてありませんが、西玄関内の情報コーナーの活用を、また、駅ビル内への分

館設置は、通勤・通学者に利便性もよく、図書館の分館として魅力的な場所であると考え、検討します。

鈴木 規子 議員

「合併によるデメリット」の解消策は

問 合併が少子・高齢化対策になるといいますが、どのような内容ですか。合併をしないとできないのですか。

◎ 今、協議中です。

問 行政効率を高めるためには、西尾の市役所に3町職員200人以上を入れることになりませんが、増築しなければならぬではありませんか。

◎ 増築はしません。

問 合併によって、議員が増えると議場の改造などに莫大な費用がかかるのではありませんか。

◎ 何人増員になるのか分からないので、申し上げられません。

問 合併によって、3町の役場も支所に縮小し、100人以上が働く場がなくなるわけで、一色や幡豆では、過疎化が進む心配がありませんか。

◎ 合併しなくても、今、寂れていま

問 合併で、物件費を削減できると思いますが、市の物件費は50億円で、3町と合計で76億円です。電算統合で削減できるのは、どれほどですか。

◎ 約9千7百万円です。

問 合併によって、財政力が1・0前後に落ちるといいますが、これはデメリットではないですか。

◎ デメリットかもわかりませんが、いちいち、これはどうだ、あれはどうだと言わないでください。

問 今は、合併ではなく、景気対策や生活支援を考えるべきではありませんか。

◎ 将来に備えて、いい地域をつつていくという大きな問題です。



答弁する市長

問 市長は、住民意向調査アンケートを読んでいないといいますが、なぜ全部、読まなかったのですか。

◎ 時間がなかなか取れないということがあります。

問 合併に多額のお金をかけるなら、

少し延ばしてはどうですか。そうすれば室場こども園や矢田ふれあいセンターなどもできます。延ばすと、市長には都合の悪いことがあるのですか。

◎ 都合の悪いことは一つもありません。

高野 邦良 議員

市長の政治姿勢「壊れやすい卵を守る」の実現について

問 「壊れやすい卵側に立った政治を貫く」という市長の精神は、どのように市政に反映していきますか。

◎ 「安心力社会の実現」で掲げた教育、子育て、福祉関係の事業と、「活力の再構築」で掲げた、市民協働や若者の活力を引き出す事業です。

問 生活や仕事上の、様々な悩みを抱えた方々が多くみえます。「壊れやすい卵を守る」立場に立った総合相談日例えば昨年、17都道府県で実施したワンストップ・サービスの日を市独自で開催しませんか。

◎ 相談業務は、専門知識を必要とするので、各課にて行っています。今後は、悩みを抱えた方々の視点に立ったサービスを提供できるよう、ワンストップ・サービスも含めて、相談業務の質の向上に努めます。

問 米津・南中根は位置的に「壊れやすい卵」です。六万石くるりんバスの南中根停留所の新設、市宮蔵屋敷住宅跡地の公園化計画、米津ふれあいの館の再構築はどのようになっていますか。要望書も提出した地域の声に、具体的に応えてくださいますか。

答 南中根停留所も含め、今後も地域の要望を参考にし、利用状況を見て、路線や運行の改善に努めていきます。市宮蔵屋敷住宅跡地利用については公園など、利用方法を検討していきます。

米津ふれあいの館で利用されていた児童クラブは、3月から米津小学校に移設、子育て支援センター事業は、米津ふれあいセンター及び米津保育園遊戯室での継続を考えています。

問 天竹神社の棉祖祭も「壊れやすい卵」です。私は、ここに、インド大使館員、ビートルズにシタール演奏を教えた偉大な奏者の直弟子、タゴールが創設した学校の校長を案内しました。この棉祖祭を、誇りと賑わいのあるものにしませんか。

答 棉祖祭は、天竺人が、棉の種を持って、この地に着いたと、「日本後記」にも載っています。かけがえのない文化の保存に努め、多くの方に、棉祖祭に来てもらえるようPRしていきます。

問 もうすぐ新学期が始まります。子どもは、未来の天使であり、「壊れやすい卵」です。いじめや不登校、けが

や交通事故などから子どもを守る、具体的に目に見えるキャンペーンを始めませんか。

答 各学校では、いじめや不登校への対応として、子どもたちへの指導やアンケートを実施、また、保護者会等で早期発見や早期対応の話をしています。交通安全についても、交通教室の開催や地域の方々などの協力をいただいで、事故防止に取り組んでいます。

長谷川敏廣 議員

西尾市・幡豆郡3町合併について

問 市長が長年考えてきたグラントデザインの構想は、今回のグラントデザインのなかのように反映されていますか。

答 西尾市と幡豆郡3町のグラントデザインは、山や川、そして三河湾などの観光資源と、この地域の歴史や伝統文化、そして祭りなどを活用した地域の活性化です。日本一と言われる農産物や海産物など、豊富な資源を地域産業の振興に生かすなど、地域資源を活用し、観光客の誘致にも生かしたいと考えています。さらに、新市の総合計画を新たに作成することも都市計画も見直し、新しい開発や企業誘致にもチャレンジしたいと考えています。

地域ブランド「西尾の抹茶」の事業推進について

問 地域ブランド「西尾の抹茶」推進の取り組みはどのようですか。

答 昨年2月に西尾の抹茶が地域ブランドを取得して以来、西尾茶協同組合と連携を図りながら、抹茶の日記念行事や金山総合駅での1市3町合同物産展など、また市役所多目的ホールで抹茶接待などを開催しています。



金山総合駅での物産展

問 西尾茶は、栽培生産量、栽培技術加工技術とも日本一であることは間違いありません。こうしたことを後世に残し、その名を全国的にPRするため、西尾の抹茶発祥の実相寺、紅樹院、稲荷山などの周辺地域を「抹茶街道」と命名していきませんか。

答 西尾市観光協会では、抹茶・歴史街道ハイキングなどを開催しています。地元の方や西尾茶協同組合と連携を図りながら調査、研究していきます。

病院改革について

問 西尾市民病院改革プランの進捗状況はどのようですか。

答 高額医療機器及び、施設整備とコストの削減を重点項目として取り組んでいます。高額医療機器では、放射線治療装置、MRI装置、マルチCT装置などを整備し、施設面では、管理棟の増築、救急外来の拡充、化学療法室の新設などを行っており、ハード面については計画どおり進んでいます。

中村 行男 議員

1市3町合併の新市基本計画について

問 交通アクセス整備をどのように考えていますか。

答 地域間の連携及び、都市間交流等各分野のニーズに対応するために、積極的な道路網の整備が必要と考えています。名豊道路、名浜道路のような東西の軸だけでなく南北道路、西尾幡豆線といった南北の軸を整備し、基軸となる道路を確立することを考えています。

問 地域の特性を生かす提言がされていますがどのようですか。

答 海岸や山間部の自然資源、豊かな

特産物、歴史文化資源があります。これらを最大限に活用した振興施策を考えています。

教育環境について

問 2期制の現況と成果はどのようですか。

答 平成14年度の学校週5日制完全実施にともない、現在の完全実施に至っています。成果としては各学校が1年間の教育活動を見直す中で授業時間の確保や確かな評価が可能になり「時間のゆとり」と「心のゆとり」が生まれました。

問 特別支援教育の環境はどのようですか。

答 特別支援学級には（知的、自閉、情緒、病弱肢体不自由）個別のニーズに応じた教育が行われています。

問 重度障害児の受け入れはどのようですか。

答 保護者の意向を十分に聞き取るよう努めるとともに特別支援教育の実際を理解いただく必要があります。程度の重い障害のある子供に対応できる専門性が備わっていません。

問 特別養護学校の建設をどのように考えていますか。

答 西尾、幡豆3町からは岡崎養護学

校には24人、半田ひいらぎ養護学校に2人が通学しています。また特別支援学校の早期建設を求める要望書に6千人を超える署名が提出されました。11月には請願書が提出されておりまして、西三河南部地域における特別支援教育の在り方を検討していきます。

問 建設用地に白ばら学園用地を借りられませんか。

答 そのような方向で、進めていきたいと思っています。

広中 利臣 議員

ふるさと市民資料館設置と国際生物多様性年等について

問 ふるさと市民記念講演会を開催し、ふるさと回帰助成金制度とふるさと市民資料館を設置しませんか。

答 また、図書館をICタグ等で運用し、電子書籍を設置したり、電子化を進めませんか。そして、ビジネス相談会を図書館で開催しませんか。

答 講演会と資料館は検討しますが、助成金は考えていません。電子化は研究します。商工会議所で開かれる相談会を支援します。

問 植物療法（フィットセラピー）と動物介在教育のマニュアル作成の研究を

進め、国際生物多様性年の企画展と生態系と生物多様性の経済学（TEEB）等のシンポジウムを開催しませんか。

答 マニュアルの研究は進め、企画展は開催しますが、他は考えていません。

ホームスタート事業と家事育児等について

問 育児支援のホームスタート事業を創設し、優良図書プレゼント事業を設置しませんか。

答 類似した事業があるため考えていません。

問 家事育と非文字文化の研究を進め、地域と民間団体と連携しませんか。

答 さらに地域等と連携をとります。

問 多死社会を考える会や臨終を考える会等を開催し、無縁死マニュアルを作成し、シルバー（高齢者）交番を設置しませんか。

答 考えていません。

授産施設作製品と写真療法等について

問 障がい者雇用ガイドブックを作成し、授産施設と農工商官が連携する抹茶等を使った製品を開発し、作製品を積極的に支援しませんか。

答 ガイドブックは作成しませんが、あとは研究し支援します。

問 むり絵や絵画等の回想療法と写真療法（フォトセラピー）の研究を進めませんか。

答 写真療法は、療育活動への取り入れに努めますが、回想療法は民間に委ねます。

問 食文化館を設置しませんか。

答 当面は、食育プログラムの推進などを進めます。

問 協同労働（ワーカーズ）の研究を進めませんか。

答 地域住民の間で機運が高まったら、協力します。

筒井 登 議員

合併を1年延ばしたことで、住民投票をする時間はできたはず、市民のご意向を問え、西尾市幡豆郡3町の合併問題

問 市長は、平成22年度中の合併を目標とする以上、住民投票をするには時間がないとの発言を記憶していますか。

答 記憶にありません。合併までの時間があるとならうと、住民投票をするとの発言をしたことはありません。

問 市長は、合併が決まっているわけでもないのに、平成22年度当初から、合併関連の予算を上げてきています。合併が不調に終わったときには、無駄遣いになってしまふのですが、損害賠償等、責任を取る覚悟がありますか。

答 合併が不調に終わったらという発言の意味がよく分かりません。市民の皆さんには、ご迷惑をおかけしません。

問 市長は、合併しなくても既に廃れていると感じているのであれば、その3町をこれからどうするか具体的に明らかにしなすか。

答 合併がなぜこんな遅れしてしまったのか、これが残念でなりません。

問 市長は合併によって市民サービスの低下はさせないと発言していますが、来月オープン予定であった「矢田ふれあいセンター」、「室場こども園」がいまだに完成していません。来年度予算にさえも計上されていません。これは市民サービスの低下ではありませんか。

答 市民要望に何でもかんでも要求どおりに実現するといった経済状況ではありません。予算計上でできない場合は、地元に対して説明し、ご理解をいただくようにしています。

問 西尾市では、矢田ふれあいセンターや室場こども園の平成22年度予算計上を見送っていないながら、吉良町では平

成22年度、4億4千万円の予算を計上して、保育園建設を予定しているようです。市長は、西尾市民には辛抱を強いておきながら、3町には平成22年度予算に関する申し入れを行っていませんが、ギャップを感じないのですか。

答 他町のことに口を挟むのは僭越（せんごつ）と思います。ギャップは感じていません。

問 基本的なことをお尋ねしますが、市長は、対等合併と編入合併との違いをご存じですか。

答 どう違うんですかと聞かれても、字のとおりです。

問 市長は、大勢の方たちから「裸の王様だ」と言われていることをご存じですか。

答 私は、裸の王様だとは思っていません。

牧野 次郎 議員

**幡豆郡3町との合併について
市民理解と合意は得られてない**

問 合併には住民の合意が前提であると考えますがどうですか。また、市長は、住民の理解と合意は、すでに得られていると考えていますか。

答 合併には、十分な協議と住民への説明が必要と考えています。合併協議会の協議はすべてを公表しています。

具体的内容が示される7月中旬から、小学校単位の説明会を開催して、理解いただく計画です。

問 合併説明資料の「新市の財政」は、合併を進めるためのでっち上げのような資料でありました。早く、市民に事実を周知し、説明責任を果たしませんか。

答 住民説明会で、事実をありのままに説明します。

問 合併移行までの経費は、26億円を超えないことを確認できますか。

答 超えることはないと考えています。

問 合併後にかかる合併のための経費は、どれほどかかりますか。

答 現時点では示せませんが、7月上旬の合併協議会で提案する計画です。

問 新市の財政力指数は初年度1・0程度に落ちますが、単独の場合と比較して基準財政需要額と基準財政収入額ほどの程度とみてのことでしょうか。

答 平成23年度の見込みとして、西尾市単独での需要額は151億円、収入額は155億円。1市3町合計では、需要額が248億円、収入額が232億円と見込まれます。

問 市は財政力指数が1・3あったにも拘らず、「お金がないから」と市民要望を抑えてきました。市長は「合併の痛み」も堪えてもらいたいと言われ

ますが、市民に、今以上の痛みを我慢してもらってまで、合併を進めるのですか。

答 そのような理由で合併を先送りにしません。一刻も早く実現したいと思えます。

問 合併説明資料で、合併により250人の職員削減ができると示したのは、イメージでしかないとのことでした。新市の職員の適正規模は実際どのようですか。

答 新市の骨格が決まり次第、適正規模を把握して、250人削減を目指します。

問 総務省が示している定員管理指標による新市の試算はどのようですか。

答 合併後の普通会計ベースの職員数1千321人に対し、総務省の示す、合併した市の指標は、1千192人(差は129人)となっています。





3月定例会で可決された議案



<p>★専決処分の承認について(平成21年度西尾市一般会計補正予算(第9号))</p>	<p>愛知海区漁業調整委員会委員補欠選挙に関する予算を専決処分したため議会に報告し、承認を求めるものです。</p>
<p>★愛知県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更について</p>	<p>海部郡七宝町、同郡美和町及び同郡甚目寺町を廃し、その区域をもってあま市が設置されることに伴い、愛知県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数を減少させ、規約を変更する必要があるため、議会の議決に付すものです。</p>
<p>★市長、副市長及び教育長の地域手当の特例に関する条例の制定について</p>	<p>暫定的に市長、副市長及び教育長の地域手当を支給しないこととするため、新たに条例を制定するものです。</p>
<p>★西尾幡豆休日診療所の設置及び管理に関する条例の制定について</p>	<p>西尾幡豆休日診療所を設置するため、新たに条例を制定するものです。</p>
<p>★西尾市職員の給与に関する条例及び西尾市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について</p>	<p>労働基準法の改正により月60時間を超える時間外勤務に係る割増賃金率を引き上げ、又は割増賃金の支給に代えて代替休暇を指定することができる制度が新設されたため、改正するものです。</p>
<p>★西尾市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について</p>	<p>国家公務員退職手当法の改正により、国家公務員の退職手当の支給制限及び返納の制度が拡充されたため、これに準じて改正するものです。</p>
<p>★西尾市高齢者交流広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について</p>	<p>西尾市高齢者交流広場とくつぎ福祉会館を設置するため、改正をするものです</p>
<p>★西尾市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について</p>	<p>個室型店舗の避難管理を推進するため、改正をするものです。</p>
<p>★西尾市視聴覚ライブラリーの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について</p>	<p>西尾市視聴覚ライブラリーを廃止するものです。</p>
<p>★市道路線の廃止について</p>	<p>開発行為に伴い、市道として存置する必要がなくなるため、中畑70号線ほか4路線を廃止するものです。</p>
<p>★損害賠償の額の決定について</p>	<p>医療上の過誤に起因した事故について、損害賠償の額を決定するためのものです。</p>
<p>★平成21年度3月補正予算</p>	<p>一般会計補正予算(第10号)、国民健康保険特別会計補正予算(第4号)、公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)、老人保健特別会計補正予算(第2号)、農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)、介護保険特別会計補正予算(第4号)、後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)病院事業会計補正予算(第3号)</p>

★平成 22 年度当初予算	一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、公共下水道事業特別会計予算、老人保健特別会計予算、農業集落排水事業特別会計予算、介護保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、病院事業会計予算
<p>※平成 22 年度一般会計予算は、議員から修正案が提出されたものの否決されました。</p> <p>副市長選任の同意 小島統市氏を副市長に選任することに同意しました。</p> <p>人権擁護委員の推薦 野澤甲司氏を人権擁護委員に推薦することに同意しました。</p> <p>固定資産評価審査委員会委員の選任 西村良雄氏、長谷川和幸氏、廣瀬成隆氏を固定資産評価審査委員会委員に選任することに同意しました。</p>	

■意見書

次の意見書を、国会及び関係行政庁に提出しました。

★女性特有のがん検診推進事業に関する意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、総務大臣
★永住外国人に対する地方参政権付与に反対する意見書	衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、国家戦略担当大臣、内閣官房長官

☆ 12 月定例会で否決された意見書（議員提出）

○核兵器のない世界を求める意見書

■ 3 月定例会に出された請願書・陳情書

★西尾市と幡豆郡 3 町の合併問題は、住民の疑問を明らかにし、合併の是非は住民投票で決めることを求める請願書	西尾市高島町 平山良平 他 1,033 人	不採択
★民間保育所運営費の一般財源化に関する国への意見書採択についての陳情	全国福祉保育労働組合 東海地方本部 執行委員長 三富和歌子	議長預かり
★障害者自立支援法の「応益負担」「日額払い方式」に関する国への意見書採択についての陳情	全国福祉保育労働組合 東海地方本部 執行委員長 三富和歌子	議長預かり

■ 4 月臨時会で可決された議案

★西尾市固定資産評価員の選任の同意について	固定資産評価員に中村良雄氏の選任について同意するものです。
★西尾市市税条例の一部を改正する条例について	地方税法等の一部を改正する法律（平成 22 年法律第 4 号）が公布されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。
★西尾市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	地方税法等の一部を改正する法律（平成 22 年法律第 4 号）が公布されたことに伴い、条例の一部を改正するものです。

議会の傍聴をしませんか。

どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

- ※ 本会議、委員会は午前 10 時から開会します。
- ※ 本会議は議場、委員会は第 1 委員会室で行います。
- ※ 車椅子の方も傍聴できます。また、本会議場の音声を大きくしてイヤホンで聴くことができる携帯レシーバーの貸出しも行っていきます。
- ※ 日程は変更になる場合もありますので、傍聴の際には議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 0563 - 56 - 2111 (内線 6102)

6月1日(火)	本会議 (一般質問)
6月2日(水)	本会議 (一般質問)
6月3日(木)	本会議 (議案上程等)
6月7日(月)	経済建設委員会
6月10日(木)	厚生教育委員会
6月11日(金)	企画総務委員会
6月14日(月)	市民病院改革特別委員会
6月22日(火)	本会議 (委員長報告等)

- 3月定例会の傍聴者は延べ 143 人でした。

インターネットで議会を見てみよう!

市民のみなさまに議会の様子をさらに広く知っていただくために、本会議映像のインターネット配信を行っています。

現在は平成21年9月定例会(一般質問等)からの模様が視聴可能となっています。

※西尾市議会ホームページから、アクセスできますので、ぜひ一度ご覧ください。

議会テレビ中継のお知らせ(予定)

放送日(放送内容)	放送開始時間
6月2日(6/1 一般質問)	18:00 ~
6月4日(6/2 一般質問)	18:00 ~

一般質問等ケーブルテレビのキャッチ 16CH (デジタル 107CH) で放映します。詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。
また、市議会ホームページでもお知らせしますのでご確認ください。

西尾市議会だより編集委員会
FAX 54-0311
電話 56-2111

◎田中 弘 ○吉見 弘志
稲垣 昌利 鈴木 亨
高野 邦良 稲垣 正明
広中 利臣 牧野 勝子

議会だより編集委員

幕末の時代に土佐藩を脱藩後、日本全国を駆け巡り、亀山社中の結成、薩長同盟や大政奉還など歴史的事象の立役者となった坂本龍馬、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の放送も始まり、ますます熱を帯びる坂本龍馬ブーム、そんな背景が偶然なのか、国では新党の旗揚げなど大きな動きが見られています。これから先は、新しい時代の到来を目指し奔走した坂本龍馬や戦国大名のような本当に世の中が分かって実力のあるリーダーが出てきて、日本全体の統治をやり直すという方向なのだと思います。

さて、3月定例会では、初日に市長の施政方針演説に続いて、2会派の代表者質問、10人の議員による市政についての一般質問、22年度当初予算の審議が行われました。

この地域が将来に向かって大きく飛躍するために合併協議を進める中、市長が掲げた施政方針スローガンである「未来に夢と希望を、歴史と文化の薫る品格のあるまちづくり」を現実のものとするべく、夢と希望が満ちあふれる素晴らしい西尾市づくりを目指し、リーダーシップを発揮していただきたいと思えます。

編集室

■ホームページ (<http://gikai.city.nishio.aichi.jp/kaigiroku/>) で、本会議、委員会の会議録(質問者、回答者のすべての内容)が閲覧できます。